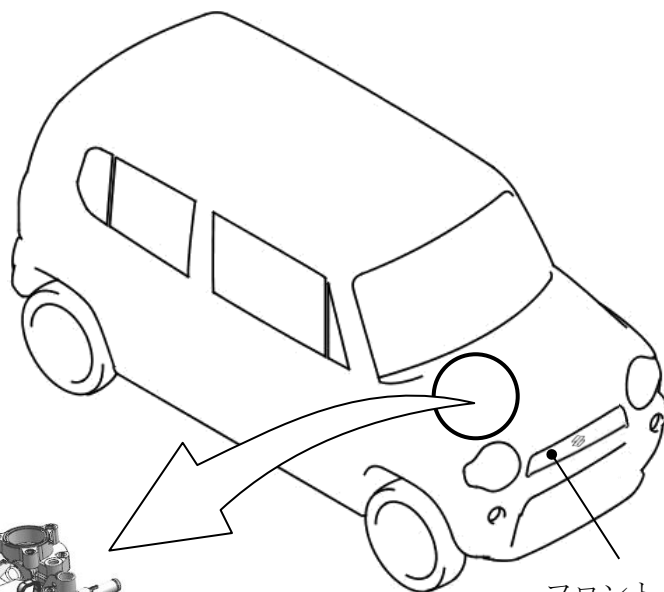
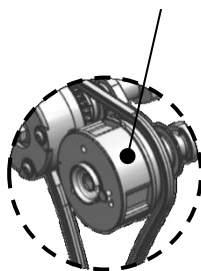
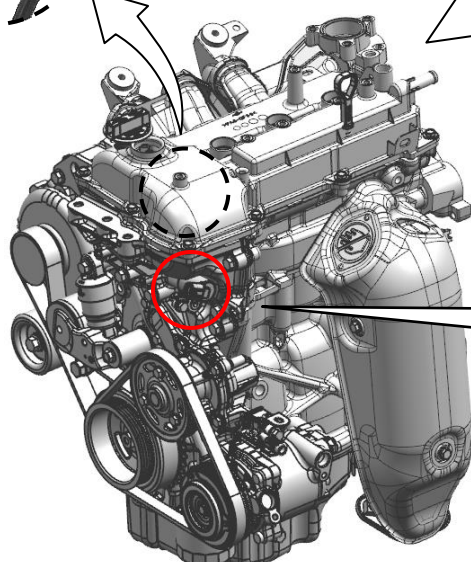


改善箇所説明図

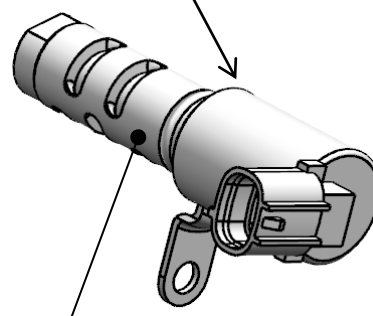
排気側の油圧式VVT
(可変バルブタイミング機構)



フロントグリル



不具合発生箇所



排気側オイルコントロールバルブ

R06Aエンジンの排気側の油圧式VVT（可変バルブタイミング機構）の作動を制御しているオイルコントロールバルブにおいて、フロントグリルより浸入した塩水によって内部に錆が発生し作動できなくなるものがある。そのためVVTの制御ができなくなり、エンジン警告灯が点灯し、停車直前にエンストに至るおそれがある。

改善の内容

全車両、排気側オイルコントロールバルブを対策品に交換する。

識別：IDプレートに青色のシールを貼付する。

注： は交換する部品を示す。